

令和5年度 桑名市総合教育会議

誰もが安心して暮らせる
桑名をめざして



～外国人児童生徒教育の視点から～

令和6年1月25日

目次



1 桑名市の現状

2 「なかま」教室について

3 外国人児童生徒教育の課題

令和5年12月時点
すでに200人超

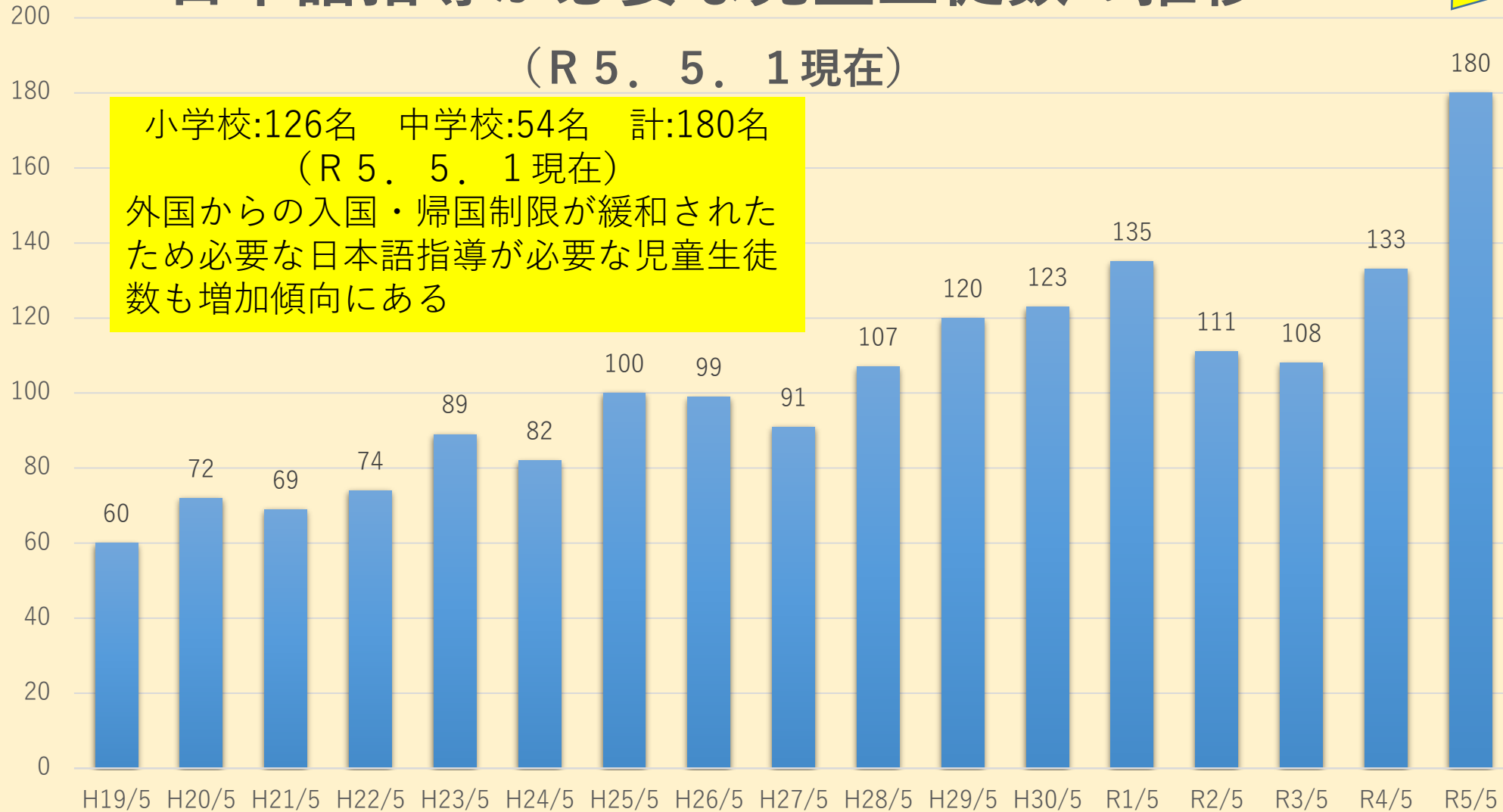
日本語指導が必要な児童生徒数の推移

(R 5. 5. 1 現在)

小学校:126名 中学校:54名 計:180名

(R 5. 5. 1 現在)

外国からの入国・帰国制限が緩和されたため必要な日本語指導が必要な児童生徒数も増加傾向にある



■ 日本語指導が必要な児童生徒数の推移

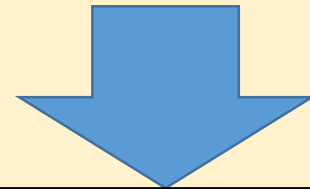
日本語指導が必要な児童生徒が
在籍する学校数 (R5.5.1)

市内小学校27校中

市内中学校9校中

23校

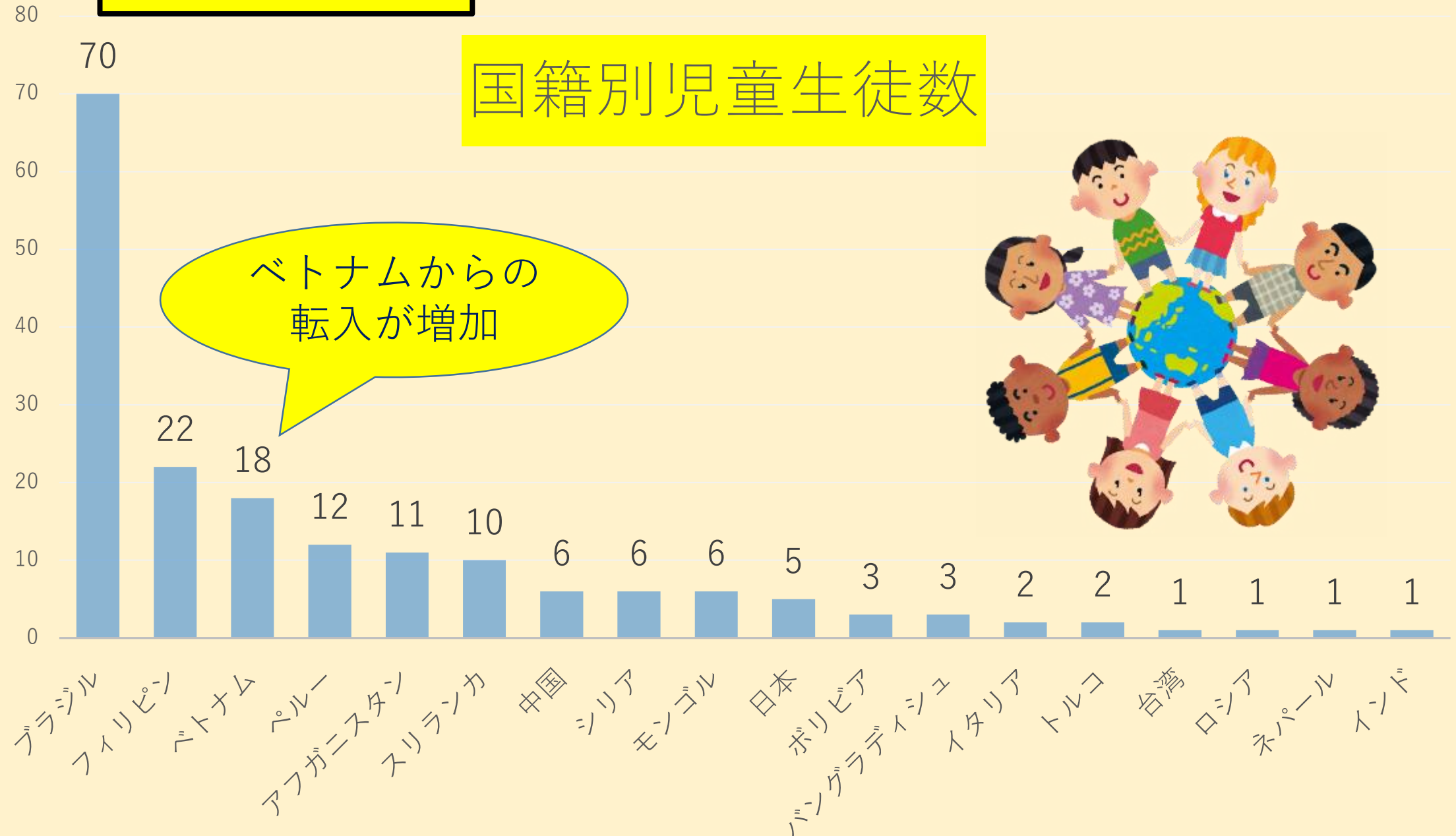
9校



拠点校のある集住地域以外に散在化する傾向
入国制限緩和により、日本語ゼロでの編入が増加

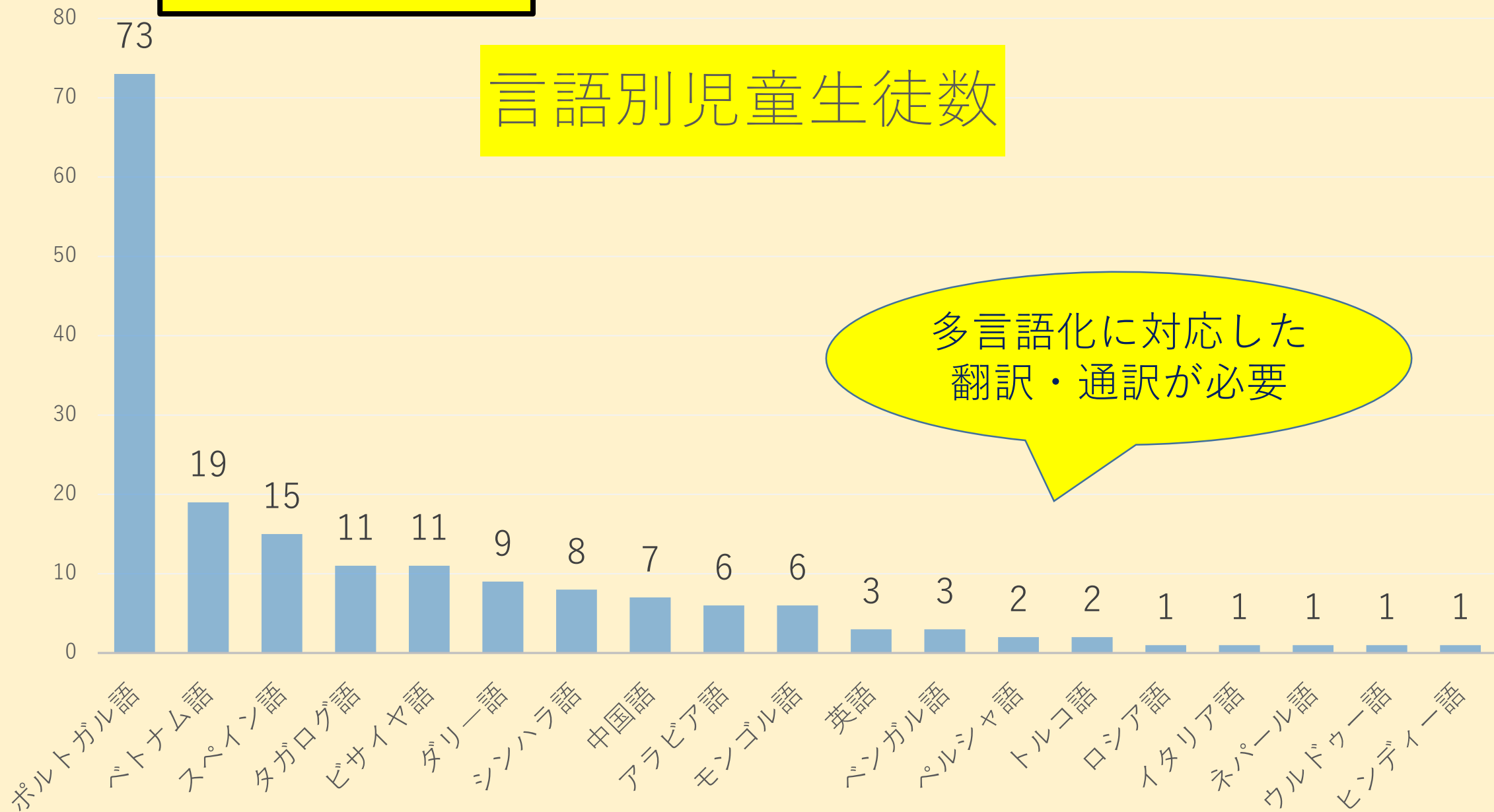
桑名市の現状

国籍別児童生徒数



桑名市の現状

言語別児童生徒数



多言語化に対応した
翻訳・通訳が必要

日本語学習環境充実事業

外国からの転入児童生徒数は増加傾向にある。

日本語が全く話せない子どもが多い。



日本への転入後は、保護者が就労し、日本での生活基盤を確立することが欠かせない。



日本語指導が必要な外国人児童生徒が日本語を学ぶための機会を保障します

大山田北小学校内
初期日本語指導教室「なかま」



保護者の送迎により
在籍校から通級

保護者による送迎が難しく、初期日本語指導教室「なかま」に通うことができない子どもが増加している。

R4年度
初期日本語指導教室
「なかま」に通級した
外国人児童生徒数

21人

「なかま」に
通級できなかった
外国人児童生徒数

16人

「外国人児童生徒教育非常勤協力員」を各在籍校に数時間派遣して指導をおこなっている。

△同じ立場の友だちと支え合い共に学習する機会がない
△「なかま」教室と比べ、日本語を学習する時間数が少なくなる

「なかま」教室



初期日本語指導教室「なかま」の開設

【ねらい】

初期的な日本語指導や日本の学校への適応支援を一定期間集中して行い、児童生徒がスムーズに学校生活を送ることができるようにする。

【対象者】①または②に該当する外国につながる児童生徒

- ①日本語による基本的な日常会話ができない。
- ②ひらがな、カタカナの読み書きができない。

【期間】おおむね1～3か月

拠点校である大山田北小学校内に令和2年5月に開設



「なかま」教室

【スケジュール】

登校		～	8:50
1限目	8:50	～	9:35
2限目	9:45	～	10:30
3限目	10:45	～	11:30

※3限目終了後、順次在籍校へ移動

※給食以降は在籍校にて過ごす。

【通級方法】

・原則、保護者送迎 → 令和5年度よりタクシー送迎スタート



「なかま」教室

「なかま」教室 タクシーによる送迎



初期日本語指導教室「なかま」
(桑名市立大山田北小学校内)



これで、安心して日本語を学ぶことができるよ！



三重県下で初めての取組です！



タクシーによる送迎

4～7月 普通タクシー2台

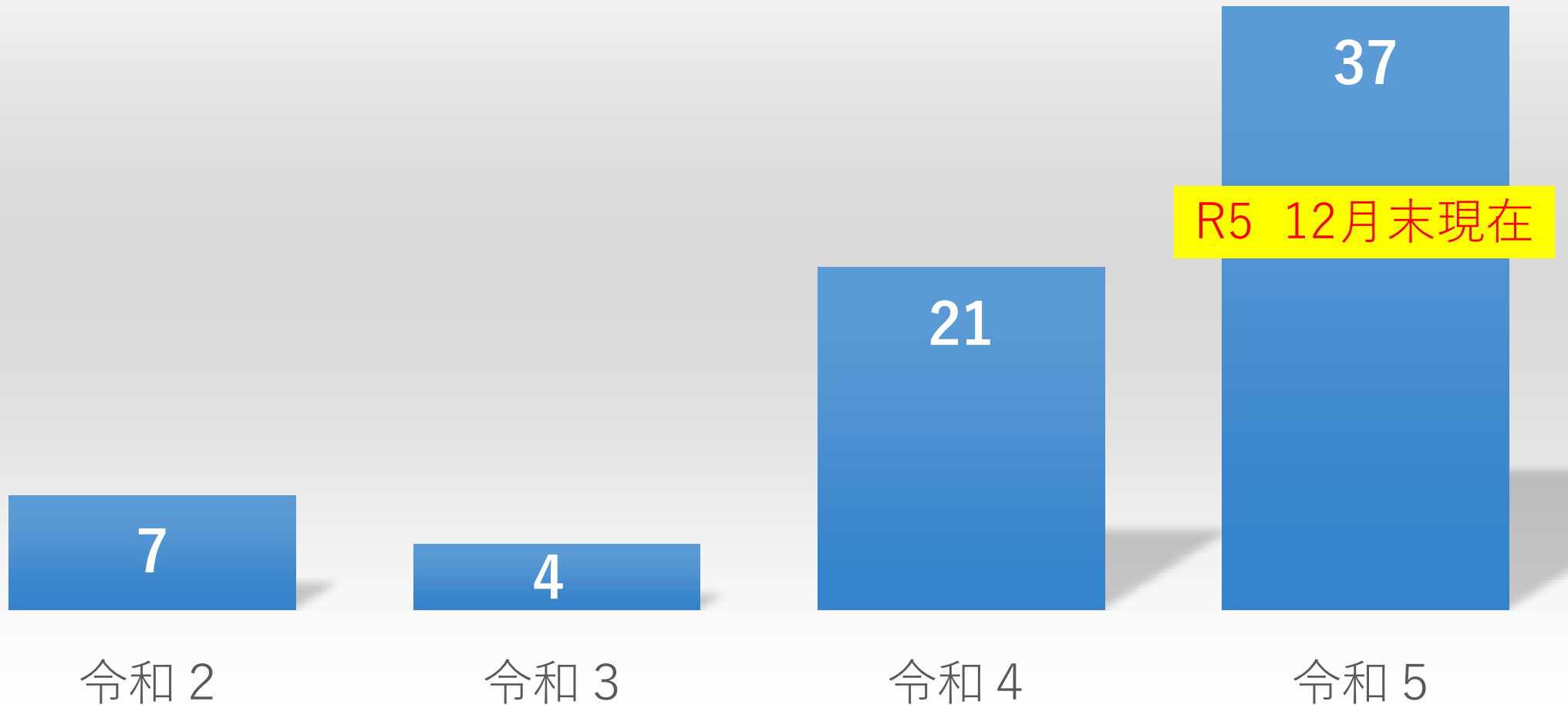
<1号車>	<2号車>
城南小	大成小
↓	↓
日進小	大山田北小
↓	
益世小	
↓	
陵成中	
↓	
大山田北小	

9～11月 普通タクシー5台

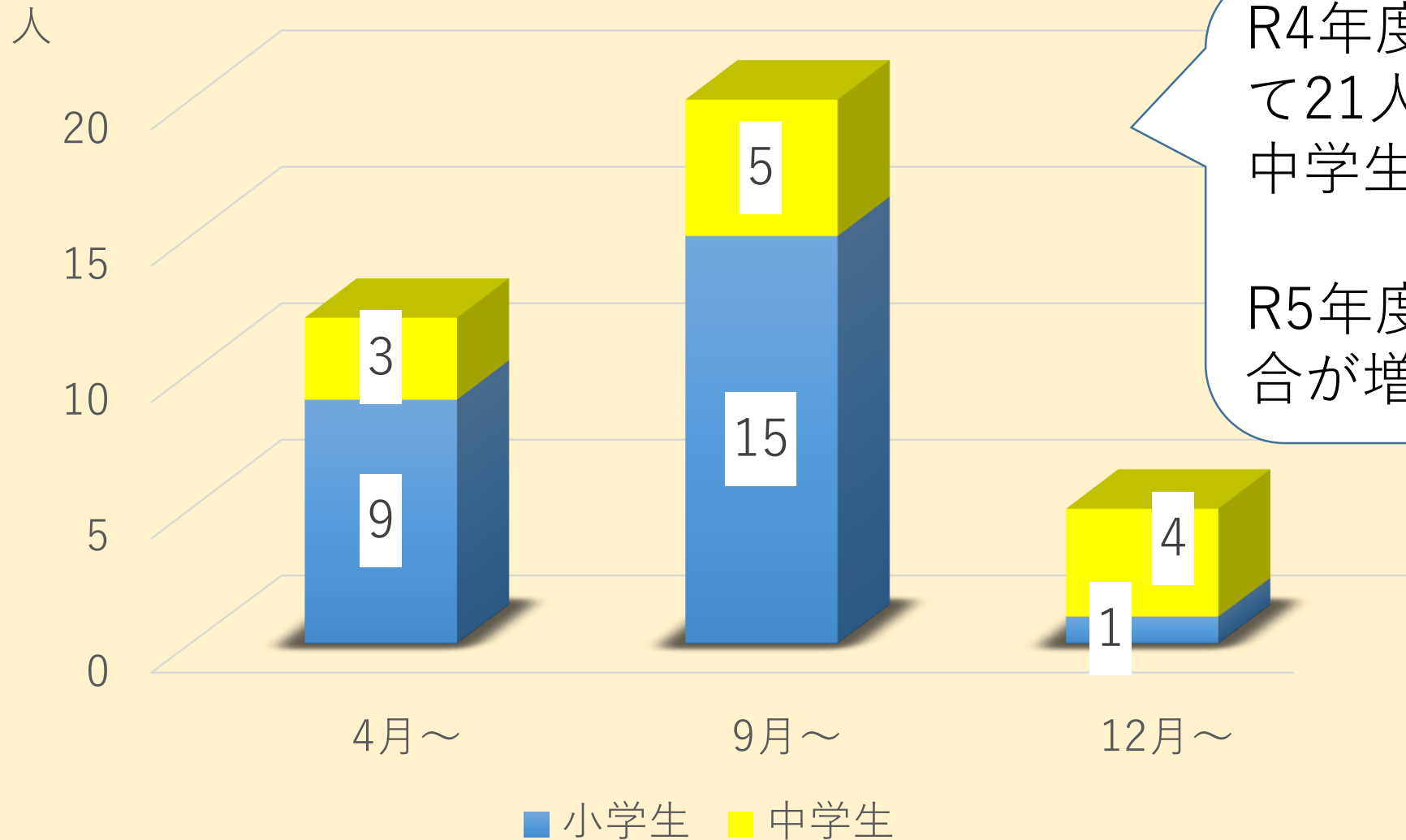
<1号車>	<2号車>	<3号車>	<4号車>	<5号車>
桑部小	城東小	長島中学校	精義小	大和小
↓	↓	長島中部小	↓	↓
在良小	陽和中	↓	成徳中	陵成中
↓	↓	大成小	↓	↓
七和小	城南小	↓	大山田北小	大山田北小
↓	↓	大山田北小		
大山田北小	大山田北小			



「なかま」通級児童生徒数の推移



令和5年度「なかま」通級児童生徒数



R4年度は、年間を通して21人が通級。その内中学生は3人だった。

R5年度は、中学生の割合が増加している。

「なかま」教室に対する声 (在籍校教員①)

昨年度11月にフィリピンから市内小学校1年生に転入した児童。非常勤協力員による週2日6時間程度の日本語指導を受けていたが、日本語での会話はできない状態が続いていた。今年度9月から「なかま」教室に通室。

「(在籍校でも)進んで会話をする姿が見られるようになりました。」

「なかま」教室に対する声 (在籍校教員②)

「なかま」教室へ通うようになり、在籍校での学習にも参加できるようになった。友だちとのやりとりを楽しむなどの変化も。

「表情が見違えるほど明るくなりました。」

「なかま」教室に対する声 (教室担当者)

友だちとのもめ事があった時、以前は自分の気持ちを伝えられずに、怒ったり物に当たったりするしかできなかった子ども。なかま教室に通い2カ月ほどたった頃、学習したばかりの日本語を使って「肩を叩かれた。痛かった。」と自分がされたことや思いを伝え、もめごとの解決へつなげることができた。

「『なかま』教室での学習の成果を感じました。」

なかま教室に対する声 (保護者)

7月19日、この日「なかま」教室を7名の子どもたちが無事卒業した。帰りにお迎えに来られた保護者の言葉。

「『なかま』教室のおかげで、子どもが日本語を話せるようになりました。先生、ありがとう。」

桑名市における外国人児童生徒教育の課題

- ①学力保障…基礎学力の定着
- ②進路保障…心配ごとの1つが進路の問題
- ③なかまづくり…安心して過ごせるなかまの存在
- ④母国語への対応…翻訳・通訳
- ⑤「なかま」教室の充実
- ⑥外国人児童生徒の可能性をさらに引き出す取り組み

課 題

①学力保障 夏季学習会 「ガンバチアンド」



課題

②進路保障

進路ガイダンス
10月28日(土)



課題

③ななかまづくり

外国人児童生徒交流会
ボッチャで遊ぼう！
8月24日(木)



④母国語への対応

翻訳・通訳の派遣

- ・ポルトガル語
- ・スペイン語
- ・中国語
- ・英語
- ・タガログ語
- ・ベトナム語
- ・シンハラ語
- ・インドネシア語
- ・アラビア語
- ・モンゴル語
- ・ネパール語

多言語電話通訳サービス

(女性活躍・多文化共生推進室との連携)

桑名市役所のすべての窓口で電話を使って通訳します。

住民登録、福祉、税、子育て、教育などの手続きや相談ができます。

利用できる言語

ポルトガル語 (Português) スペイン語 (Español)
ベトナム語 (Tiếng Việt Nam) タガログ語 (Tagalog) 中国語 (中文 簡体字)
英語 (English) 韓国語 (한국어) ネパール語 (नेपाली भाषा)
インドネシア語 (Bahasa Indonesia) タイ語 (ภาษาไทย)

利用できる日と時間

月曜日～金曜日 8:30～17:15

※土曜日・日曜日・祝日、12月29日～1月3日は利用できません。

多言語化に対応した
翻訳・通訳が必要
しかし実際は…



⑤ 「なかま」 教室の充実

< 通級児童生徒増加への対応 >

- ・ 特に4月と9月の入級が多い
- ・ 中学生が増加している
- ・ 学習スペースの不足
- ・ 6歳と15歳が同じ教室で学習することの難しさ



⑥外国人児童生徒の可能性をさらに引き出す取り組み

引き続き日本語指導のさらなる充実をめざす



日本語を話せなくても
安心して暮らせる桑名に

- ・ 英語や母国語でも社会で自立し活躍できれば…
- ・ 英語や母国語でも転入の手続き等ができれば…
- ・ 他課・他機関との連携と協働が必要！

すべての日本語指導が必要な児童生徒によりきめ細かな指導を行っていくために

- これからの社会を生き抜くために外国人児童生徒への必要な支援は？
- 「なかま」教室での指導の充実・発展のためにできることは？

